

# 平成21年徳島県鉱工業生産指数 (平成17年基準)

鉱工業生産指数は、県内総生産の約4分の1を占める鉱業と製造工業における生産活動を数量的な面から指数化したものであり、本県経済の動向把握や予測のための重要な経済指標の一つとして利用されています。

このたび、平成21年の鉱工業生産指数を年報としてとりまとめましたので、御活用ください。

## 利用上の注意

### 1 基準時

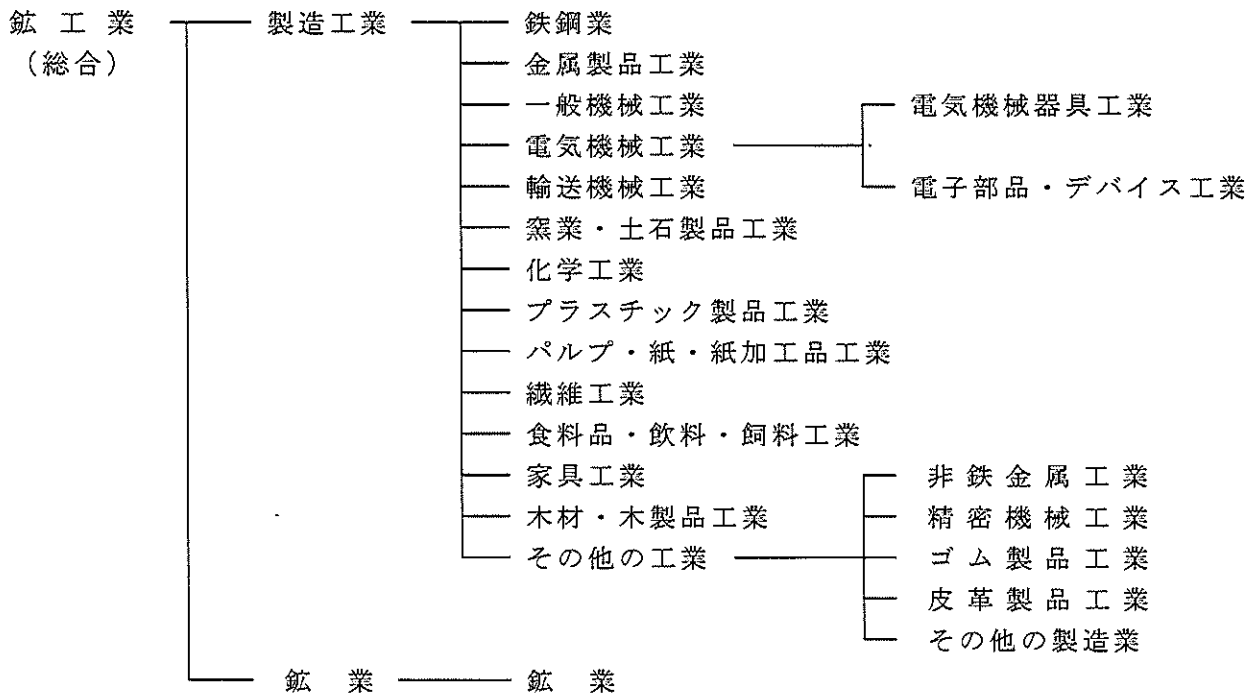
平成17年を基準年次としています。

したがって、指数は、平成17年の1か月平均の生産数量を100.0とした比率で示しています。

なお、現行の平成17年基準では、平成15年1月分まで遡って各月の指数を算出しています。平成14年以前の指数(平成12年基準による)については、接続指数を乗算することにより、便宜的に現行基準に接続させることが可能です。

### 2 対象及び分類

日本標準産業分類(平成14年3月第11回改定)の中分類に準拠しつつ、それを一部組み替えた、次の図の2部門20業種としています。うち「電気機械器具工業」と「電子部品・デバイス工業」を「電気機械工業」に、「非鉄金属工業」ほか4業種を「その他の工業」に統合し、2部門15業種と鉱工業(総合)について、生産指数を作成しています。



### 3 採用品目

県内において生産されている品目は多数におよび、全品目を採用することは事実上困難であるため、基準年次における生産額の大きなものから、代表性、正確性、重要性、系列の信頼性及び調査の継続可能性等を考慮して、88品目を選定しています。

### 4 ウェイト

ウェイトは、付加価値額ウェイトを採用し、平成17年の産業構造により、鉱工業全体を10,000.0とした構成比によって表しています。

業種別のウェイトは、製造工業については「工業統計」（指数の業種分類・概念に適合するよう組み替えを行ったもの）、鉱業については「本邦鉱業の趨勢」を基礎資料としています。

また、品目別のウェイトは、「工業統計」のほか、「経済産業省生産動態統計」や各種業界統計などにより単価・金額等を推計し、業種別のウェイトを採用品目の金額構成比により按分しています。

業種別ウェイト・採用品目数

業 種 名	平成17年基準	
	ウェイト	採用品目数
鉱 工 業 総 合	10,000.0	88
製 造 工 業	9,992.1	85
鉄 鋼 業	77.9	3
金 属 製 品 工 業	337.4	4
一 般 機 械 工 業	576.7	6
電 気 機 械 工 業	2,043.7	6
輸 送 機 械 工 業	243.0	2
窯 業 ・ 土 石 製 品 工 業	199.0	8
化 学 工 業	3,591.9	9
プ ラ ス チ ッ ク 製 品 工 業	239.1	4
パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品 工 業	737.9	6
織 維 工 業	318.2	9
食 料 品 ・ 飲 料 ・ 飼 料 工 業	1,071.7	10
家 具 工 業	164.3	5
木 材 ・ 木 製 品 工 業	201.8	4
そ の 他 の 工 業	189.5	9
鉱 業	7.9	3
鉱 業	7.9	3

### 5 指数の計算方法

算式は、採用品目の個別指数を基準時のウェイトで加重算術平均する基準時固定加重算術平均法、いわゆるラスパイレス算式を用いています。

$$\text{個 別 指 数} = \frac{\text{比較時の生産数量}}{\text{基準時の生産数量}} \times 100$$

$$\text{総合指数 (原指数)} = \frac{\text{(個別指数} \times \text{基準時のウェイト) の総和}}{\text{基準時のウェイトの総和}}$$

## 6 季節調整

原系列（原指数）には、1年を周期とする季節的な変動要因が含まれます。この季節変動パターンをあらかじめ計算して、原系列から取り除くことを季節調整といい、季節指数で原指数を除す方法で季節調整済指数を算出しています。

季節調整法は、平成12年基準に引き続きX-12ARIMA（モデル(011)(011)）を採用し、曜日や祝祭日、うるう年を考慮して季節調整を行いました。

$$\text{季節調整済指数} = \frac{\text{原指数}}{\text{季節指数}} \times 100$$

## 全国の概況

平成21年の鉱工業生産指数は81.1であり、対前年比21.9%減となりました。

平成20年9月のリーマンショックによる世界的な金融危機の影響を受け、同年10月から平成21年2月にかけて急激に下降しましたが、2月の71.4（季節調整済指数）を底に上昇に転じ、一貫して上昇を続け12月には90.4（季節調整済指数）の水準にまで回復しました。

業種別にみると、全18業種のうち、食料品・たばこ工業を除くすべての業種で前年を下回りました。特に、ウェイトの高い一般機械工業が39.9%減、輸送機械工業が32.5%減と大きく前年を下回りました。

## 徳島県の概況

平成21年の鉱工業生産指数は107.2であり、対前年比8.5%減となり、平成13年以来8年ぶりに対前年比がマイナスになりました。

本県における鉱工業生産も、平成20年9月以降の世界的な不況の影響により、同年10月から急激に下降しはじめ、平成21年2月には90.8（季節調整済指数）と平成16年上半期ごろの水準にまで落ち込みました。しかしながら、その後は需要の回復等から上昇基調になり、12月には119.1（季節調整済指数）と平成20年上半期ごろの水準にまで戻りました。

業種別にみると、全15業種のうち化学工業、その他の工業を除くすべての業種で前年を下回りました。なかでも、平成5年以来ほぼ毎年2桁の増加を続けていた電気機械工業が、対前年比11.7%減と、17年ぶりにマイナスとなりました。その他、ウェイトの高い食料品・飲料・飼料工業で対前年比2.8%減をはじめ、パルプ・紙・紙加工品工業が同30.0%減、一般機械工業が同33.2%減など大幅に前年を下回りました。

<参考> 鋳工業生産指数の推移

第1表 鋳工業生産指数の年別（月別）推移

(平成17年=100)

年 月	徳 島 県		四 国		全 国	
	鋳工業 生産指数	対前年(月) 上昇率(%)	鋳工業 生産指数	対前年(月) 上昇率(%)	鋳工業 生産指数	対前年(月) 上昇率(%)
平成16年	93.1	3.1	97.2	2.6	98.7	4.9
17	100.0	7.4	100.0	2.9	100.0	1.3
18	108.3	8.3	104.1	4.1	104.5	4.5
19	114.7	5.9	105.9	1.7	107.4	2.8
20	117.1	2.1	105.1	△ 0.8	103.8	△ 3.4
21	107.2	△ 8.5	90.3	△ 14.1	81.1	△ 21.9
21年1月	97.4	△ 1.8	86.2	△ 8.5	78.1	△ 8.4
2	90.8	△ 6.8	81.3	△ 5.7	71.4	△ 8.6
3	98.5	8.5	79.4	△ 2.3	73.0	2.2
4	102.1	3.7	89.4	12.6	76.3	4.5
5	110.5	8.2	89.3	△ 0.1	79.8	4.6
6	102.2	△ 7.5	92.7	3.8	81.0	1.5
7	102.0	△ 0.2	89.5	△ 3.5	81.9	1.1
8	107.6	5.5	92.0	2.8	83.1	1.5
9	117.4	9.1	95.9	4.2	84.6	1.8
10	116.8	△ 0.5	95.5	△ 0.4	85.9	1.5
11	124.6	6.7	97.8	2.4	88.1	2.6
12	119.1	△ 4.4	96.2	△ 1.6	90.4	2.6

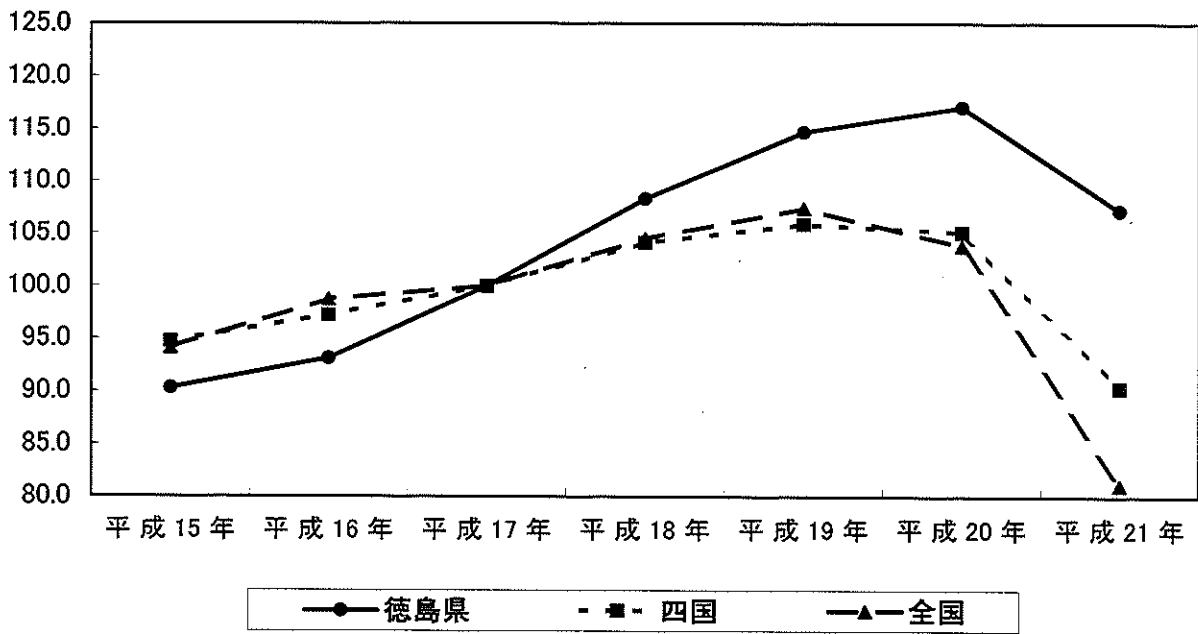
(注) 年間データは原指数、月別データは季節調整済指数  
季節調整は、季節指数(センサス局法X-12ARIMA)を使用

第2表 徳島県業種別生産指数(原指数)

(平成17年=100)

業 種 名	ウェイト	平成20年	平成21年	
		指 数	指 数	対前年 上昇率(%)
鋳工業総合	10000.0	117.1	107.2	△ 8.5
製造工業	9992.1	117.1	107.2	△ 8.5
鉄鋼業	77.9	89.4	72.7	△ 18.7
金属製品工業	337.4	123.9	97.1	△ 21.6
一般機械工業	576.7	102.9	68.7	△ 33.2
電気機械工業	2043.7	168.9	149.1	△ 11.7
輸送機械工業	243.0	129.7	101.1	△ 22.1
窯業・土石製品工業	199.0	64.3	57.0	△ 11.4
化学工業	3591.9	106.0	110.5	4.2
プラスチック製品工業	239.1	98.2	95.3	△ 3.0
パルプ・紙・紙加工品工業	737.9	94.4	66.1	△ 30.0
繊維工業	318.2	108.0	87.0	△ 19.4
食料品・飲料・飼料工業	1071.7	112.5	109.3	△ 2.8
家具工業	164.3	67.6	56.6	△ 16.3
木材・木製品工業	201.8	69.6	51.8	△ 25.6
その他の工業	189.5	99.0	100.8	1.8
鋳業	7.9	99.5	88.6	△ 11.0
鋳業	7.9	99.5	88.6	△ 11.0

第1図 鋳工業生産指数年間推移(原指数)



第2図 鋳工業生産指数月別推移(季節調整済指数)

